

ヘブル語の動詞について (1)

●創世記 1 章 1 節には、「バーラー」(בָּרָא)という一つの動詞があります。動詞はヘブル語において最も重要です。英語では第一人称単数、現在形が基本形となりますが、ヘブル語では三人称、単数、男性、完了形が基本形となります。つまり、ヘブル語辞典に記載されている語で Qal(カル)形とも呼ばれます。形容詞も、名詞も、動詞から派生したと考えても過言ではあません。

●ヘブル語の基本形の多くは三つの語幹から成っています。 □□□

聖書で最初に登場する「バーラー」(בָּרָא)は、三人称、単数、男性、完了形ですが、二番目(創世記 1:2)に登場する動詞は英語の Be 動詞に相当する「ハーヤー」(הָיָה)の三人称、単数、女性、完了形です(主語である「地」が女性名詞であるため、実際には「ハーヤー」の女性形「ハーイター」הָיְתָהとなっています)。

●興味深いことに、創世記 1 章 1 節と 2 節に登場する動詞の第一と第二の文字の母音記号がいずれも長母音です。しかし、多くの場合、動詞の基本的な母音記号は、以下に見るように、第一が a の長母音、第二が a の短母音です。

アーマル	ナータン	シャーマ	ダーヴァル	シャーラハ
אָמַר	נָתַן	שָׁמַע	דָּבַר	שָׁלַח
言う	与える	聞く	語る	送り出す

— (意味は完了形ですが、現在形で表記します) —

●聖書の最初に登場する二つの動詞の母音がいずれも長母音であるのは、第三番の文字が「アーレフ」(א)と「ヘー」(ה)だからです。この二つの文字のいずれかが最後(第三の文字)となる場合にのみ、母音記号は a の長母音となります。

●例外もあります。たとえば、以下がそうです。中央の文字の母音が e の長母音となります。これはそのまま覚えるしかありません。

シャーレーム	マーレー	ハーフェーツ
שָׁלַם	מָלֵא	חָפֵץ
完了する	満ちる	喜ぶ

●動詞には二つの語幹から成っているものもあります。 □□

しかし実際に、辞書では「ヴァヴ」ׁ や「ヨード」ׂ を補って取って三つの形にしています。その場合、辞書では必ず括弧 () で括られています。そのような動詞は以下のものがあります。

ヤーシャヴ	シューヴ	ポー	ビーン	グール	フール	ヤーサル	スール
יָשַׁב	שׁוּב	בּוֹא	בִּין	גּוֹל	חּוֹל	יָסַר	סוּר
住む	返る	来る	悟る	宿る	こおどりする	懲らしめる	離れる